

原発労働と私たち… そして教育

知るべきこと 伝えるべきこと

「知らなかった」不都合なことを、「知ってしまった」とき、私たちはどうするのだろうか。やはり「知らなかった」ことにするのか、それとも向き合う覚悟を決めるのか? 「共に生きる」と笑顔で語りつつも、私たちが踏みつけている人たちがいるとしたら、その人達は私たちにとって「共に生きる」対象ではないということなのだろうか。

原発労働は、働くというよりいのちを切り売りすることに等しい。しかしその実態は、闇に隠され、「安全」にカモフラージュされる。そんな世界が私たちの生活のすぐ横にあった。「知らなかった」不都合なこと…? だが、私たちは本当はうすうす気がついているのかもしれない。私たちのすぐ横には、そうした「不条理」がたくさんあることを…!

そして今、はっきりと「知ってしまった」私たちは、誰に、何を語り始めるべきなのだろうか。自分自身に…同世代の仲間たちに…そして子どもたちに…!

原発労働は、まさしく「教育」の対極に位置しているのかもしれない。

2019年

日時

2/23 土

定員
100名

13:30~17:00 (受付 13:00)

場所

大和市渋谷学習センター (IKOZA)
多目的ホール

参加費

一般：1,500円
学生：500円 (高校生以下無料)

私たちEd.ベンチャーは、東日本大震災を受けて足かけ4年にわたる教育支援を陸前高田市と石巻市において取り組みました。それは、被災への支援ボランティアということだけではなく、被災した、地方(東北)の瓦礫の中から、都市部に暮らす私たちの生活や、教育のあるべき姿を、見つめ直す意味を持った活動であったと思っています。同じように、原発労働のことを知ることで、私たちは自分たちの生活の足もとや、労働の意味、そして教育において語るべきことを見つめ直したいと考えます。

講師

寺尾 紗穂

(ピアノ弾き語り音楽家・エッセイスト)

講演依頼のきっかけになったのは『原発労働者』(講談社現代新書、2015年)です。

ピアノ弾き語りもあります



モデレーター

松田 洋介

金沢大学 (人間社会学域・学校教育学類) 准教授
専門：教育社会学・職業教育

教育学研究をベースに労働・学校・社会運動へと幅広く関心をもっています。Ed.ベンチャー設立当初からの会員です。

